

～ 地域の農業・農地を守り、 次世代に引き継ぎ未来を拓く ～ 株式会社 南張農産

●地区の概要

- ・所在地：志摩市浜島町南張地区
- ・戸数：1 法人
- ・農地の状況：水田29ha
- ・主な作物：水稻
- ・主な加害鳥獣：イノシシ、ニホンジカ

●活動のようす

イノシシ用WM柵 施工や関係者との連携の様子



イノシシの徘徊・侵入(R2)



イノシシ用WM柵 施工時 協力者と



柵設置は南張農産と協力者で施工



完成(R4.2)高低差箇所は嵩上げ



シカ対策としてイノシシ柵上段に
架線設置(R4.11)



市役所、JA、県との経営検討会
(R2)

●取組内容

- ・将来的な営農継続や後継者確保に向けて、後継者が働きやすい環境をつくる必要があるとの考え方から、前進の組織である南張営農組合(平成4年設立)を、平成29年に法人化。
- ・南張農産の経営検討会を市役所、JA、普及センターも参加して定期的に行い、情報共有や連携を行いつつ、獣害対策も進めており、法人化により確保した後継者や地域おこし協力隊も参画し、中心的な活動を担っている。
- ・令和3年度には29ha(約16km)でWM柵を整備(電気柵からの切り替え)し2年連続で被害ゼロ。
- ・ニホンジカは、志摩市が認定するジビエ加工施設の運営者(捕獲従事者)と南張地区内の捕獲従事者とも連携して捕獲を進め、ペット用ジャーキーとして加工。
- ・獣害対策の断念は自社の農業経営の断念であり、地区の農地・集落の荒廃に直結すると考えから、南張美農里(みのり)保全会(多面的機能支払交付金)の活動と連携しながら、防護柵の維持管理等の獣害対策の取組みを継続している。

※WM柵・・・金属製の侵入防止柵